

しんあい

発行：社会福祉法人 信愛会 ホームページ <http://www.sin-ai-kai.jp>

発行日：令和2年4月13日

- 特別養護老人ホーム裕生園
- 養護老人ホーム長寿園
- きんかん 小規模多機能ホーム
- グループホーム たちぼな
- ケアハウス シヤトル
- みやづるデイサービスセンター
- みやづるサービス付き高齢者向け住宅

〒880-2221
宮崎県宮崎市高岡町内山 2407-3
TEL.0985-82-0196(代)
メールアドレス
sin-ai-kai@sin-ai-kai.jp

第
31号



裕生園の書道クラブにて、「平成」の世は31年4月で幕を閉じ、2019年5月から「令和元年」が始まりました。



社会福祉法人信愛会
副理事長

辰元 圭子

ごあいさつ

平成から令和へと年号が変わり、またたく間に令和二年を迎えましたが、早々に新型コロナウイルスが流行してしまいました。感染源もわからないままに、手を打つすべもなくアツと言う間に全世界に蔓延してしまいました。

中国武漢に発生し、日本では豪華客船の中での感染の様子を、日々ニュースで見ると、三十一年前、クイーンエリザベス二世号のクルーズ船に神戸から乗船し、船旅を満喫しましたが、その時に中国での天安門事件が起こり、船中でニュースを見て驚いた事が思い出されます。

この数年、大自然からの人間に対する逆襲ともいえる出来事が世界各地で次々に起きています。人、物、金（経済）が世界中をあっという間に激しく駆け巡りますから、一国だけの問題ではなく、「地球は一つ」ということを切実に感じます。

東京五輪の聖火が東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市に「復興の火」として到着しました。まだまだ災害復興も終わっていない現状です。東京オリンピックは外国の人達に日本の「おもてなし」を発揮する場のはずでしたが、新型コロナウイルスの影響で延期となりました。リーマンショック以来の経済の打撃と、先の見えないコロナウイルス問題で、いつ明るい日差しが見えるのか期待したいものです。

私達、高齢者と関わる仕事をしていると、毎日が感染症との戦いです。インフルエンザ、ノロウイルス等ほとんど外部からの感染ですから、面会謝絶をしたり、職員は自分の健康管理は勿論、家庭内での生活、日々の行動に最善の注意を払う必要があります、仕事以外にも神経をすり減らしている毎日です。

施設の周りには桜の木がたくさんありますので、今年も部屋から花見ですね。早く桜が満開になりコロナウイルスも下火になってくれる事を待ちたいものです。

ニュークックチル方式の導入

特別養護老人ホーム裕生園では、平成三十年秋から厨房内の工事を始め、平成三十一年三月からニュークックチル方式を導入しました。

これは、セントラルキッチンで真空調理、冷蔵した食材を、裕生園の厨房で加熱する前に冷蔵のまま盛り付けし、特殊なカートにセットして時間を設定して再加熱するものです。冷蔵の状態でも処理するので前倒しで準備が出来、朝食も前日に準備することが可能です。そのため、これまでのように調理職員が朝早く出勤する必要がなくなり、余裕をもって段取りをすることができるようになりました。現在政府が進めている「働き方改革」にも沿ったものだと言えます。

まだ始まったばかりなので、これから試行錯誤を重ねて徐々に軌道に乗せて行きたいと思っています。



再加熱カートの内部。冷蔵のまま盛り付けし、タイマーセットする。左側が加熱され、右側は冷蔵のまま。



カートからトレイを取り出したところ。左側は温かく、右側は冷たい。

たかおか居宅介護支援事業所管理者の 楠元剛志氏が厚生労働大臣表彰を受章

たかおか居宅介護支援事業所の管理者兼主任介護支援専門員の楠元剛志氏が、令和二年二月二十一日に宮崎市民文化ホールで行われた宮崎市社会福祉大会において、「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰」を受章されました。

これは社会福祉事業の発展向上に顕著な功績があり、長年にわたってその業務に精励されて来た方に贈られるもので、この日、戸敷宮崎市長から楠元氏に厚生労働大臣からの表彰状と記

念品が伝達授与されました。本当におめでとうございます。氏のこれまでのご功績に敬意を表するとともに、これからのますますのご活躍をご祈念申し上げます。



宮崎市社会福祉大会において戸敷宮崎市長から厚生労働大臣表彰を伝達授与される楠元氏



表彰状を手にする楠元剛志氏

世界中に蔓延する新型コロナウイルス

令和元年十二月に中国の武漢で発生したとされる新型コロナウイルスが、あつと言う間に全世界に蔓延し、令和二年四月段階でもまだまだ感染拡大が止まりません。

今年行われる予定だった東京オリンピックも延期となり、世界の主要都市で都市封鎖が行われています。

日本の小・中学校、高校も三月から一斉休校し、四月も休校を延長する自治体も出てきています。人の行き来がなく

なり、通常の経済活動がストップしてしまいました。リーマンショック時を超える大不況になるとも言われています。

世界中の人類共通の敵の弱点を探り、対策を講じて、また元の日常生活にできるだけ早く戻りたい、というのが切実な願いです。



全世界に広がる新型コロナウイルス。(令和2年3月末現在。Johns Hopkins Univ.資料より)

特別養護老人ホーム 裕生園

ご挨拶



特別養護老人ホーム裕生園

施設長 川越 淳

平成三十一年一月一日付の法人内異動で裕生園の施設長を拜命しました。ケアハウスシャトル及びグループホームたちばなの施設長から、三年九ヶ月振りに裕生園に戻って来ました。前回の異動前にも既にご利用者の要介護度の重度化の兆しはあったのですが、この度復帰してみてもそれがかかりはつきりとわかりました。介護保険の制度改正があり、特養は介護度三以上の方しか原則入所できなくなり、その中でも更に介護度四、五の利用者の方の割合が高いと介護報酬の加算が付くという形になった事もあり、全国的に特養の重度化が進んでいます。ご利用者の状況によりニーズも変わり業務の内容も変わって来ます。行事等の中身も変わって来ます。

また、人材不足が慢性化し、介護職だけでなく、栄養士や調理員、看護師等、あらゆる職種で厳しさが増しています。少子化・高齢化が進み、小さくなって行くパイをあらゆる業種で取り合っている状況です。外国人労働の受入れや介護ロボット、ICTの活用は避けることのできない時代の流れでしょう。

推計によると要介護の高齢者が増え、それを支えるべき生産年齢人口が減って行きますので、介護保険制度自体の維持が困難になって行きます。保険給付と負担のバランスの見直しが絶えず必要になります。介護保険はもともと「共助」の発想から生まれたものです。私たちはその原点を忘れがちで、もっと自分の身に引き寄せて考えるべきでしょう。どこまでのサービスを求めて行くのか、そのためにはどのくらいの負担をするのか、お互いの合意のもとに進めて行くという保険の原点を常に振り返ることが大事だと思います。

～七夕慰問～



天ヶ城保育園の園児達が慰問に来てくれました。ご利用者も楽しいひとときを一緒に過ごされました。

～辰元グループ 夏祭りフェスタin2019～



ビューティフル・フラの皆さん

芳生太鼓の皆さん

明るく楽しい 園生活



天ヶ城保育園の園児の皆さん

～合同敬老会～



副理事長の挨拶



ひよっとこ踊り



あ-ふクラブの皆さんによる二胡演奏

初心を忘れずに



みやぶるサービス付き高齢者向け住宅
みやぶるデイサービスセンター

所長 富永 孝俊

令和元年十一月一日、「みやぶるサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）」と「みやぶるデイサービスセンター」の所長として赴任しました。

この業界は、全くの素人、新人であります。その新人の強みは、全てのことからスタートする事だと考えています。なぜそうするのか？なぜこうなっているの？なぜ？なぜ？毎日、毎日、自分にとって不思議な事、そして新しい疑問の連続。職員の皆様にフツツと思われている事も、私にとっては、「ん？」迷惑で面倒くさい存在かも？しかし、半年、一年も経つと、私も「あく、こんなものか」と思っ流していく事になると思います。だから「新人の間に、自分の目で、耳で、頭で、体で感じる」この感覚を大切にしたいと思います。

もう一つ、大事にしたいことは、「当事者目線でモノを考える」という事です。自分の立場で、自分の考えで、良かれと思っ決めて判断する。それで相手の方も喜んで満足している、と思っ込む。そうではなく、相手の立場で考える。自分だつたら、本当にどうしてもらいたいのか？何を望んでいるのか？そういう当事者の側のモノの考え方、これを大切にしたいと考えています。

十一月後半に、入居者の方が玄関で転倒され骨折されました。外出から帰つて来られ、玄関靴箱の前で、室内履きに靴を履き替える際の出来事でした。この時、考えました。どうして転倒されたのか？どうしたら防げるのか？その日、夕方までの二時間、玄関で皆さんの靴の履き替えをずっと見ていました。そして分かりました。靴箱が六段、高さ一五〇cm、そして、手でつかんだり、体を支えるものがない。自分で靴を履き替えて

みました。やはり身体がふらつきます。早速、本部に相談したところ、即、上段横に一本、縦に三本、手すりが設置されました。その日、何人もの入居者の方から、「これは助かる」「こんなのが欲しかった等々」あく、やっぱり、日頃から不便さを感じていたんだな。当事者目線で考えることの大切さ、必要性を実感しました。日々、この新鮮な気持ち、初心を忘れることなく努力致します。今後共、よろしくお願っ申し上げます。

ご挨拶



みやぶるデイサービスセンター

管理者 外山 有美

令和元年五月一日付で、みやぶるデイサービスセンターの管理者に就任いたしました。

私自身、平成二十年から社会福祉法人信愛会に入職して今年で十二年目を迎えます。これまで通所介護の介護、一昨年度から生活相談員業務に務めて参りました。これまで仕事を続けてこられたのも多くの方々の温かいお力添えがあったからこそだと思います。心より感謝申し上げます。今回のお話をいただいた時、正直、責任の重さに耐えきれぬ不安で一杯でしたが、今まで培った経験やノウハウを自分らしく発揮し、職員と協力してこれまでどおり利用者様のために日々の業務に励んでいこうと決意しました。

みやぶるデイサービスセンターが開設して四年目を迎えました。利用者様が可能な限りその居室において、自立した日常生活を送ることができるよう、必要な日常生活上のお世話及び機能訓練を行ない心身機能や生活機能の維持を図り向上出来るよう、職員一丸となりサービスを提供していきたいと思っっております。今後も職員一人一人の資質向上に努め、地域に愛さ

れ、ご家族様、ご利用者様が安心して過ごせる環境を目指し精進して参りますと共に、私自身試行錯誤の日々で、ございますが、初心を忘れずにこれからも自己研鑽してまいりますので、今後とも宜しくお願っいたします。

ご挨拶



みやぶるサービス付き高齢者向け住宅

管理者 日高 留依

平成二十八年四月にオープンしました「みやぶるサービス付き高齢者向け住宅」で生活相談員を三年間務めておりましたが、令和元年五月一日付で管理者に就任いたしました。

平成十八年四月に信愛会に就職し、裕生園とグループホームたちはな十年勤めておりましたので、今年で十三年になります。ここまで勤務し続けてこられたのも、多くの方々への支えがあったからだと思っます。心より感謝申し上げます。

サービス付き高齢者向け住宅は、高齢者の方が安心して暮らしていけるようなサービスを提供するバリアフリー構造の賃貸住宅です。トイレ付きの個室、安否確認や生活相談のサービスが付いています。又、施設が提供する有料のサービスもあります。自立の方から要支援、要介護の方も入居が可能な住宅となっています。住居が変わつても、介護保険サービスはそのまま利用でき、比較的自由度の高い高齢者向け住宅となっています。

生活相談員としてもまだまだ未熟な上に管理者という責任を感じていますが、より良いサービスが提供できるように、関係各所と連携していきたいと思っます。入居者の皆様がみやぶるサ高住で長く生活していただけるよう職員一同、ご支援して参りたいと思っます。

みやづるデイサービスセンター

『いつも楽しく、笑顔、笑いの絶えないデイサービス』をモットーに
日々、利用者の皆様と元気に活動しています。

毎月行事

ドライブ・食事会・お誕生会
お買い物・慰問（舞踊・民謡）



季節の行事

運動会・クリスマスバイキング
かるた取り・こい釣り大会

みやづるサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)

夏祭り



エイサー



フラダンス



外食



夏祭りの
ボランティアの
皆様



高岡町
一里山地区の
芝桜を
見てきました。

ご挨拶



ケアハウスシャトル施設長
グループホームたちばな代表

中岩 哲也

平成三十一年一月一日付異動で、ケアハウスシャトル施設長及びグループホームたちばな代表に就任いたしました。三年九か月の裕生園施設長在職中は、たくさんの方にお世話になるとともに、私の至らない点を助けていただき、心から感謝申し上げます。終の棲家と言われている特養の施設長を経験させていただきました。老人福祉、介護分野での貴重な経験を積ませていただきました。約四年ぶりにシャトルに戻ってみると、入居者の方の三分の二が変わられていて、時の経過を感じさせられました。

シャトルが平成八年、たちばなが平成十二年に事業開始していますので、介護保険制度開始とほぼ時を同じくして歩んできました。

現在、シャトルは自立から要介護三までの軽度介護者が生活されています。たちばなも認知症で要支援二から要介護三までの方がいらつしやいます。介護度が増したり認知症が進むと、シャトルから裕生園やたちばなへ、たちばなから裕生園へと移動が出来るので、ご家族の方も将来の不安を抱えることなく、現在の施設生活を安心して続けることができるのではないかと思います。

これからも、利用者様お一人おひとりのニーズに合った施設サービスを提供していきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ケアハウス シャトル



平成 31 年 4 月の西都原での花見



平成 31 年 4 月の天ヶ城での花見



令和元年 11 月の地域交流遠足



令和元年 5 月の市民の森の菖蒲見学



令和元年 11 月の西都原のコスモス見学



グループホーム たちばな



グループホームたちばなは、認知症のある高齢者が専門スタッフの援助を受けながら共同生活をする施設です。能力に応じてそれぞれの方に料理や掃除等をして頂き、認知症の進行防止や自立した生活の再建を目的としています。アニマルセラピーや花植えや畑を耕し野菜等を一緒に育て収穫を行い、自宅で過ごすような環境作りに取り組んでいます！



きんかん 小規模多機能ホーム

梅干し漬け



毎年梅干しを漬けて、お茶のお供を作ります。

スイカ割り



夏はスイカ割りにそうめん流し。夏満喫!

そうめん流し



あじさい見学



杣木池のあじさい見学に毎年行きます。

夏祭り



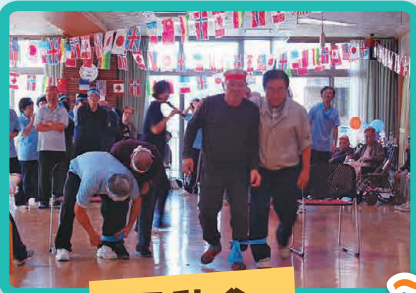
辰元グループの夏祭りに参加。

誕生日



祝!100歳!!

養護老人ホーム 長寿園



運動会



初詣

～明るく楽しい施設生活～

様々な行事やクラブ活動を通して、楽しく笑顔あふれた日々を過ごしています。



園外食



紫蘇ちぎり



料理クラブ



まっぼっくり保育園の園児達との交流会

しんあい俳壇

毎月一回、ケアハウスシャトルで行われている俳句の会で発表された俳句の中から、いくつかをご紹介します。作者は、シャトル及び宮崎しんあいの入居者の方々です。(氏名五十音順)



中茵モリ

紅葉を見たさにこころ旅の空
これでよしおもしろし心又くずれ
バス走るなんと美し自然あり
夜になりあみどにへばる秋の虫
手がかゆくも皮むきは義母まかせ

二宮裕子

年の暮わずか一枚のカレンダー
空と海沖でお手々をつないでる
ささの葉に願い事書き夜の空
コスモスがゆらりゆらんで西都原さいとばる
毎日のラジオ体操秋の空

花田暢子

花吹雪手の平に受け幸願ふ
梅の実か又はすももか青き玉
朝の田にさぎ一羽立つ五月晴
立ち枯れの稻惜しと見る医者帰り
一面の青田に万歩計はづむ

松浦エイ

秋の風黄金の波を渡りくる
春風や笑顔でかけ出すランドセル
終戦の玉音二十歳の涙
鯉のぼり泳ぎ疲れし夕べかな
小鳥とてみかんつつけば憎まれる

森田琢恵

日の光金色にする銀杏いちょうの葉
教え受く俳句指折り早や師走
恋唄や高低ありて蛙の夜
笹だんご作る昭和の遙かなり
正座した青蛙の目と吾が目合う

矢野いさ子

ケアハウスまちにまちたる田の花火
老いたれば窓にすがりて夏祭り
虹を背に野花手にもち急ぎ足
川あそび走って帰る入道雲
裏山に子等の手をひきつくしとり



編集後記

新型コロナウイルスによる災禍のために、世界はつい二、三ヶ月前までのものとは全く異なるものになってしまいました。グローバル化した世界では人が世界中を日常的に飛び回るので、あつと言つ間にウイルスが蔓延してしまいました。日々状況が変わり、この「しんあい」が読まれる頃にはどんな世の中になっているのか想像できません。二〇一一年の東日本大震災以降、毎年のように大規模災害が発生してきましたが、今度のコロナショックは私達の予想をはるかに超えていました。疫病のためにオリンピックが延期になるとは前代未聞のことです。ワクチンや治療薬が開発されるまで、あるいは何らかの理由でウイルスの活動が鎮静化するまで、何とか最小限度の被害で乗り切れるように、ひとりひとりが必要なことを出来る限り行っていくしかありません。

俳句の会第一回〜第十三回のなかから『しんあい』編集部が選びました。